

# 令和4年 **1**月の**安らぎ**通信



日本海溝・千島海溝地震の被害想定 冬の夜なら被害最悪

千島海溝地震 北海道で27Mの津波も

日本海溝地震 低体温4.2万人 対処必要

\*内閣府の有識者検討会は、太平洋の岩手県沖から北海道沖にかけて日本海溝・千島海溝沿いで起きるマグニチュード(M)9クラスの巨大地震について被害想定を公表。

\*沿岸部を震度6強~7の揺れが襲い、30M近い津波が押し寄せます。

☆巨大地震の被害想定（各モデルの想定する最悪のケース。数字は概数）

	日本海溝モデル	千島海溝モデル
死者数	199,000人	100,000人
全壊・焼失	220,000棟	84,000棟
避難者（1週間後）	578,000人	244,000人

**M8.8, 30年以内に最大40%**

☆30年以内に大地震が発生する確率（2021年1月1日時点）

震源域	地震の規模	確率（%）
千島海溝	M8.8以上	7~40
千島海溝（根室沖）	M7.8~8.5	80程度
日本海溝	M9程度	ほぼ0
日本海溝（青森・岩手沖）	M7.9程度	8~30
南海トラフ	M8~9級	70~80

（出所）政府の地震調査委員会

（2021年12月22日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

